

様式 4

令和 5 年度第 3 回 富士見市図書館協議会 議事録						
日 時	令和 5 年 1 2 月 1 5 日（金）		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 2 0 分		
場 所	中央図書館 レセプションルーム					
出 席 者	委 員	出井委員長	檜山副委員長	小林委員	金高委員	今井委員
		○	○	○	○	○
		神馬委員	本木委員	野澤委員	金子委員	渡邊委員
		○	○	○	○	○
	事務局	○教育委員会生涯学習課 森田主査 ○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
次 第	1. 開会 2. 各館事業報告（令和 5 年度 9～11 月） 中央・鶴瀬西・ふじみ野 3. 「図書館サービスの周知について」 4. その他（次回開催日程） 5. 閉会					
配 布 資 料	・ 富士見市図書館協議会 令和 5 年度 12 月定例会次第 ・ 2023 年 9～11 月活動報告（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館）					
議 事 内 容						

図書館	1. 開会 開会あいさつ 2. 各館事業報告（令和 5 年度 9～11 月） 【中央図書館】 ・資料に基づき報告
図書館	おはなし会、映画会、団体貸出の利用状況、障がい者サービスの利用状況及び、対面朗読の数は別紙のとおりである。障がい者サービスは 10 月と 11 月にデイジー資料を 1 点ずつ作成した。ブックスタート、ロビーコンサートも好評であった。通常の展示とは別に、ミニ展示として、9 月は「アルツハイマーを知ろう」「自殺防止週間」11 月は「DV 防止週間」「障がい者週間」があるため、それらに関する本を展示した。 自主事業報告は、11 月 12 日の日曜日に「図書館まつり 2023」を行った。総括を添付している。内容は今年も多かったが、天候が悪く、来館者が少なかった。来ていただいた方たちには喜んでいただけたと思う。 【鶴瀬西分館】 ・資料に基づき報告
図書館	おはなし会、映画会実施。団体貸出、学校連携は報告書に記載されている。 展示は、9 月は、「関東大震災から 100 年」また、講座に合わせて、「ハッピーな老い支度のススメ」に関する本を展示した。 10 月には「りんごの棚」を設置し、バリアフリーに関する本、LLブック、点字本などを配架している。 11 月は、子ども読書コンクールの POP で紹介された本の展示も行った。 自主事業報告 「2023 科学講座 低温の不思議」 冷たい液体（液体窒素）に、最初はこわごわ取り組んでいた子どもたちも、講師の話を聞きながら、徐々に取り扱えるようになって行った。 「ハッピーな老い支度のススメ」では、ご高齢の方の自分自身のための講座だけではなく、子どもの世代の立場から親の終活について考えてもらう機会にもなるよう講師と計画を練った。講師が行って

きた講座と比べると、いつもより若い方の参加があったとのことで、図書館で行った意義があったのではないかと感想をいただいた。

「ハロウィン工作」は地域との連携で 4 回目の実施となる。つるせ台まつりに参加して、地域の方との交流を深めさせていただいている。SDGS の観点から、保管期間を経過した新聞紙を利用し、YA サポーターにも協力してもらい、また工作は、図書館に親しみを持っていただけるよう工夫した。

「みんなでつかうまちのしせつ」つるせ台小学校の 2 年生が来館、図書館の施設を案内した。

「読み聞かせボランティア養成講座」読み聞かせには初心者と上級者がいるので、どこにターゲットを持って行ったらよいか悩んだが、どんな人にも対応するポイントとコツを案内していただいた。実際に本を見ながら説明を受けると、皆さん納得されているようだった。ご自身にとってのポイントとコツを感じ取っていただけたようである。

「自然あそび けいあい ‘のびのびひろば’ 青空えほん」
恵愛病院は、以前は産婦人科だけだったが、現在は小児科の診察も行っている。恵愛病院内の、‘のびのびひろば’ という場所で、他協力機関と一緒に、読み聞かせをした。病院の利用者の方たちにも楽しんでいただけた。また恵愛病院は産むだけではなく、産んだ後も、お母さんと子どもとの関係性を続ける、「みんなで育てていく」といった認識を強くお持ちで、図書館と共通の観点で良い空間を作ることができた。

「わらべうた講座」今回は、赤ちゃんが初めての場所に慣れるまでの時間を多めにとったため、赤ちゃんが終始笑顔だったのが印象的であった。赤ちゃんとしっかり遊べるこのわらべうた講座は、おはなし会の参加への入り口となっている。

「24 日は西（にし）の日」毎月 24 日は、しおりをお渡ししているが今回は図書館（YA）サポーターが作ったしおりをプレゼントした。

「としょかんゲームクラブ」ボードゲームにより「論理的思考力」「コミュニケーション能力」「創造力」を発揮していただく。参加者には大好評で、いろんな角度から図書館を利用していただけたのではないと思う。

「君たちはどの本をよめるか」ガチャの中にある紙に書かれたヒントを元に、本を探して貸出するもの。ゲーム感覚で何度も借りる子、親子で参加する子、こちらもゲーム感覚で楽しんでいただけたと思う。

【ふじみ野分館】

・資料に基づき報告

図書館	おはなし会、ぶんちゃんひろば、映画会、団体貸出の数字は報告書に記載の通りである。9月はミニ工作会付きの映画会を行った。41名と多数の参加があった 自主事業報告 「ぶんちゃんひろば9月」は、「音楽とジャグリングを楽しもう！with 富士見高校吹奏楽・ジャグリング部」。富士見高校の吹奏楽部とジャグリング部に協力いただき、演奏とパフォーマンスをしていた。終了後に高校生が、子どもたちに、楽器に触らせてくれたり、ジャグリングを教えてくれたり、和やかな時間が持てた。 10月のぶんちゃんひろばは、「勝瀬中学校科学部のわくわく科学教室」。中・高生は図書館から離れてしまう年代だが、こうやってイベントを通して、図書館に関わってくれるのがありがたいと思う。 11月のぶんちゃんひろばは、アニメーション「くれよんのくろくん」絵本に出てきたスクラッチアートの体験をしてもらった。スクラッチアートは、大量にクレヨンを使うので、小さくなったクレヨンを電子レンジで溶かして、くっつけてまた再利用するSDGsもからめた内容になった。 「マネー講座 公的制度を活用したおかねの増やし方」『iDeCo とNISA』一般向けマネー講座も今回で3回目となる。iDeCo とNISA は、関心が高く、申し込みも多数いただいたが、これらについての知識がまったくない人と、とても良く知っている人とでは受け取り方が違い、全ての申込者に楽しんでもらえる講座だったかと言えば、そうではなかった。 「ハーブ&アロマ講座～お気に入りの香りをいつもそばに～」では、人気の「ハーブ講座」と「アロマ講座」を今回はまとめて行った。やはり参加者が多く、評判も良かった。 「整理収納講座 クローゼット収納編」2回目の整理収納講座で今回はクローゼット編。クローゼット収納の実践方法などを学んだ。今回も関心の高さがうかがえたので、来年も行っていこうと思う。 「勝瀬 de 縁日」はふじみ野交流センター主催の行事。子ども向けイベントとして、工作会とおはなし会を行った。工作会ではマジックスクリーンをつくり、おはなし会では、ふわっぴーの絵本も読み聞かせした、両方ともとても人気が高かった。 「エアロブックス®」今回は、フィットネスインストラクターと絵本専門士の二人に加えて、富士見市在住の絵本専門士の方にも参加していただいた。通常よりも一体感が生まれた会となり、楽しい時間を過ごすことができた。 「まじょたちのハロウィンパーティ」読み聞かせボランティアすぶんふるさんの協力で行い、読み聞かせや工作、クイズなど、ボリューム満点の内容であった。 「秋のはらっぱおはなしかい」は恒例の勝瀬原公園でのおはなし会。とても天気の良い日で、たくさんの方にお集まりいただけた。
------------	---

	「五感で楽しもう！絵本と音楽」絵本に音楽をつけて読み聞かせをしたり、リトミック、生演奏など、とても楽しい時間を過ごせた。勝瀬中学校演劇部による読み聞かせも好評であった。 大人のための「絵本セラピー®」ふじみ野じゅくとのコラボ。絵本を読んだ時に感じた感情を、何人かのグループになって語りあうもので、上手く進むか心配だったが、知らない者同士だからこそ、遠慮なく、思ったままを語り合うことができていた。 【質疑応答】
委員	団体貸出は、学校図書館の司書が、それぞれの学校での読書月間の取り組みを充実させようとして利用が多かったのか。
図書館	そういったこともあるが、ふじみ野分館では10月と11月に特別支援学校の司書の方から、‘こういうテーマの絵本を探している’と依頼を受けて、一緒に探したりした。
図書館	鶴瀬西分館では、最近、関沢小学校図書室の貸出依頼を受けている。勝瀬小にもブックトークで出かけている。子どもたちの反応がとても良く、貸出の依頼も多いため、図書室に貸出という形にした。
図書館	全体的に見て、図書主任の先生よりも、学校司書の方の方が活動されており、いろんなアイデアを持っている、そんな方が借りにいらっしゃることも多い。
委員	学校司書の方の勤務体系を教えて欲しい。
図書館	週3回、基本午前中の中のみの勤務である。中学校は週2回である。もっと働きたいという声も多い。
委員	ふじみ野分館に質問、各イベントの参加対象者に、「利用カードをお持ちの方」とあり、利用促進を促すためだと思うが、一方で、普段図書館を利用しない市民が、イベントに参加する際には事前にカード作成をお願いしているのか。
図書館	必ず、当日までにカードの作成を依頼している。
図書館	講座に関して、「お金」に関することと、「健康」に関することは人気がある。今後も続けて行こうと思う。
委員	カードを持っているのはどれくらいの人数なのか？

図書館	登録の人数は5～6万人程度である。今まで、累計でずっと利用者数を集計していたが、今年の3月に、指定管理者制度が始まった以前に登録して、それ以降お使いいただいていない方を全て削除した。それで半分くらいの人数になった。実利用者数、これは実際にカードで貸出等した人数であるが、こちらは15000～20000人程度である。だいたい人口の5分の1くらいである。
委員長	行政とデータが繋がっていないので、亡くなったり引っ越ししたりなどが反映されていない。整理していただき有難い。
委員	ふじみ野分館の「マネー講座」。中央館の雑誌に「日経マネー」があったり、お年寄りの方や主婦の方たちは「お金」に関する関心があり、こういった講座は人気がある。一つききたいのが、今回の講師へのアプローチはどういった形で行ったのか。
図書館	TRC（図書館流通センター）が自主事業企画協力で行っている「マネー講座」の講師である。今回依頼して来ていただいた。
図書館	いくつか分野が有り、それぞれに講師がいて、図書館に来てもらって講義をしてもらうことが出来る。また、片付けの講座はTRCの図書館スタッフが資格を持っていて、横のつながりで図書館でも講座をしてもらっている。
委員	公民館主催の健康教室など、すぐに申し込みがいっぱいになってしまう。「マネー講座」は講師を選ぶのが大変なので、そういうルートがあるのであれば、図書館で年に1～2回やってもらえると、とても良いと思う。
3.「図書館サービスの周知」について	
図書館	「地元の図書館のことご存じですか？」という冊子を作った。これを作ったきっかけは、市の会議などに出かけた時に、職員の方や議員の方など、図書館のサービスに関心のある方でも、意外に知らなかったりするので、どのように周知したらよいかと思い、作成した冊子である。まず広報課に届けた。それ以外の活用があれば聞かせて欲しい。皆さん、知らないサービスはありましたか？
委員	あった。カード作成の際に、住所要件がないということは知らなかった。びっくりした。もっと広めた方が良い

図書館	都内ではほとんどが、その地域に在住在勤、または近隣の方しか利用カードを作ることができない。また、新刊や他の図書館から本を借りるなどは、市内在住の人限定しているところも多い。
委員	なぜ富士見市では住所要件がないのか。
図書館	「渋谷定輔文庫」があるのも一因かと思う。渋谷の資料の閲覧には、必ず利用者登録をしていただく必要があるが、日本全国から多くの方が閲覧に見えるので。
委員長	どなたにも利用していただきたいという思いからだと思う。ただ、富士見市近隣以外の利用者がそれ程多くいるわけではない。図書館の利用の機会を広げようということである。
委員	いつからなのか
委員長	この中央図書館を作った時に条例を整備したが、そのときからである。
委員	分館の冊数制限がないのがありがたい。中央で20冊借りても分館に行くと借りられる。一度にたくさんの資料が必要な事が有るので、助かっている。
委員	これらのサービスを周知するには、図書館だけではなく、生涯学習課が持っているネットワークを使って、セカンドブックや障がい者サービスなど、それぞれ所管されている部や課、また市内の団体に個別に図書館でこういったことを行っているんだと伝えていただく。それらを受けて、健康増進センターであるとか、学校教育の方であるとか、関係する部や課のつながりから市内の関係先や利用者へと広く知られていくようになるのではないかな。
委員	「地元の図書館の事ご存じですか？」という標題特色だけではなく、サービス全体を掲載したほうが良い。「地元の図書館の特色、ご存じですか？」であればよいと思う。 特色以外に、普通のサービスも知らない人もいる。分館は上限なく借りられるとか、電子図書の登録や予約の方法など、教えていただけるとうれしい。
図書館	ゆくゆくは広報富士見に入れて全戸配布するとか、使い方も含めたものを作っていきたい。また、先ほど委員がおっしゃったサービスに対応する所管の部や課にも配布したい。今現在、障がい福祉課や高齢者福祉課などに、サービスに関連する資料を置いてもらってい

	るが、住民票異動の窓口を利用案内など持って行きたいと考えている。
委員	セカンドブックや障がい者サービス、託児サービスの充実を図るため、子どものコーナーやパパママコーナー、障がい者サービスのコーナーに、こういうサービスがありますよといった POP みたいなものを分館でも展開すると良い。関連書籍のあたりに設置すると良いと思う。
委員	「障がい者サービスの充実」とあるが、音訳者としてはありがたい。サービスに録音図書作成の充実を盛り込めるようにしていきたい。これらは障がい者サービスと提携し、進めていきたい。音訳者養成講座が終わり音訳者が増えたので、今後も活動をサポートしていただきたい。
図書館	ZOOM による対面朗読は、まだ行っているところが少ない。コロナ禍が終了し、やっと対面でできるようになった。そういうことを知らない方が多い。こういったことは来館すればわかるが、来館しない方へのサービスをどうやって周知して行くか。そのあたりが課題でもある。
委員	保育課には、子どもに関してのサービスと親子に関してのサービスがある。保育課は、各保育園に周知できる場所があるので、さらにその下までも降ろすようにすると、まず園の中で、保護者や子どもたちにアピールできるのかなと思った。保育課や障がい福祉課の場所だけでなく、その先まで進めていただきたい。
図書館	市役所の縦割りだけでなく、横のつながり、また下に降りる情報も共有していきたい。
図書館	4. 次回開催日決定 次回は 3 月 8 日（金）午前 10 時から中央図書館レセプションルームにて開催。
図書館	5. 閉会
委員長	その他 ・ 寄贈図書の扱い ・ 富士見市の HP のつくり方の考え（次回返答）